

アジャボ中学校での  
プラスチックが世界におよぼす害  
特にプラスチックの袋の利用の害  
についての説明会報告

## 1. ワークショップ

各教室から6人の代表を集めて最初のワークショップを行いました。まず私たちは生徒たちにプラスチック製品にどのようなものがあるか、どんな種類のプラスチックがあるかを尋ねました。生徒たちは固いものと柔らかいものを挙げました。私たちはやわらかいプラスチックがどのようにして固いプラスチックから造られるかを話しました。私たちは生徒たちが、プラスチック製品について実際的である、良いものだ、あるいは問題がある、のどの考えかを尋ねました。殆どの生徒の回答が良いものでした。この回答と、生徒たちがワークショップの最初にみせた様子で、アジャボの生徒たちは私たちの説明会に対してそもそも反対の気持ちであるように見えました。

それからゴドヌ氏がプラスチックの星という映画を見せました。ときどき休憩をいれて、生徒たちが映画の内容に反応できるようにしました。生徒たちの驚愕は大きなものでした。ベナンの道路の端にあるプラスチックゴミについてはみなよく知っていて、気分悪い物でした。しかし悪い気分のような考えはすぐに消えました。この映画で、「考えたくない」という態度がベナンにも災害を引き起こすのが分かったからです。それどころか世界中がこの問題にぶつかっているとは、生徒たちは知らなかったのです。

ゴドヌ氏はプラスチックがもたらす様々な問題について説明しました。

### 1. 人間の健康問題

- がんにかかる人が増えている
- 子供が産めない人が増えている。
- 太りすぎの人が増えている
- 行動に集中できない
- 頭に湿疹ができて頭痛がする（プラスチックの髪をつかうことで忘れっぽくなる

### 2. 地球の問題

- 大海が破壊されている
- 動物が死んでいる
- 足にプラスチックの髪がからんで鳥類が足を失くす
- オゾン層が破壊される（プラスチックを燃やすから）
- 気温が上昇する
- 洪水が起きやすい（コトヌ市でプラスチックを地中に埋めるため雨水がしみこまずに洪水となる）
- 土地がやせる

引き続いてプラスチックの代わりに何を使えるかという話になりました。みな、困っていましたがゴドヌ氏が、プラスチックがなかったころモノを何で包んでいたかと説明しまし

た。植物の葉のことを、最初、生徒たちには古臭くて原始的だと思えたのが、新しい輝きを得ました。誇り高く、植物の葉がベナンのモダンで伝統的な産物であると評価されました。さらに他の、環境によい材料が紹介されました、それは紙の袋、布の袋、あるいは有機的に分解する袋です。

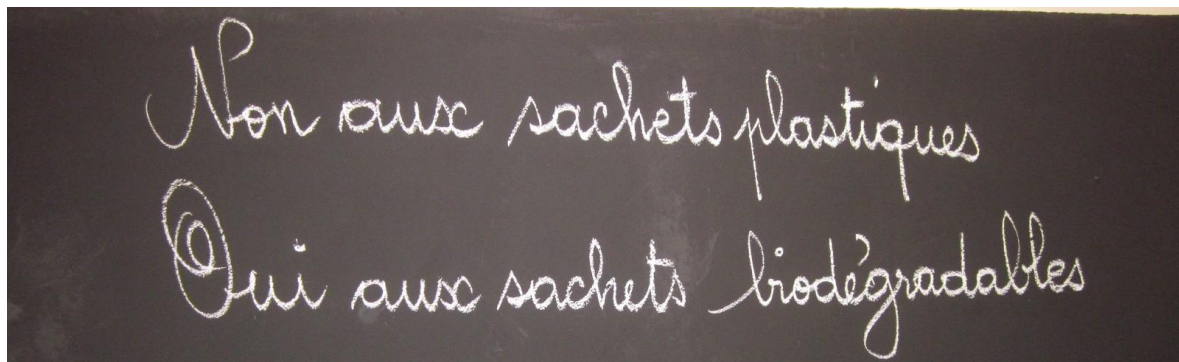


生徒たちは、このプラスチックのテーマを両親、友人と話すという宿題をもらいました。生徒たちは二回目のワークショップでそれについて報告することになりました。

## 二回目のワークショップ

2回目のワークショップで、まず1回目の学習や体験を振り返りました。それから生徒たちが家族や友人と話したことを報告しました。多数の親たちは、自分でもプラスチック袋を買い物に使っているので、攻撃的な対応となりました。けれどももとても賛成した親たちもいました。とくに校庭で食べ物を売る女性たちは関心を示しました。その場で、明日からはプラスチックの袋をつかわないと決めました。

この日の2番目のポイントは、関心を持ってもらう説明会の日に演じる劇の準備でした。演じる生徒たちが選ばれ、劇の内容の相談をしました。それから、簡単な上演を行い、その場の人たちからいろいろなコメントや、拍手がきました。もっと良くするアイデアも提案されました。熱心に繰り返して完成に導きました。みな大変喜んでいました。他のクラスの生徒たちが窓から、何がおきているか見ていました。



### 3. 説明会

住民はそろそろと集まりました。学校長は30分遅れて開会を宣言しました。生徒たちは許可された場所にきて何が起きるか見ることになりました。



挨拶の後、今日のアクションの開始です。生徒たちは、劇によって、プラスチックが私たちの健康と環境にどんな問題をおこしているかを示しました。





終わるとゴドヌ氏がマイクを取りました。彼はこの劇のテーマをさらに詳しく説明し、聴衆の質問に答えました。報告者は生徒たちに足元のプラスチックを前に運んでと言いました。



それから「エ・マン・ヨン」（これは悪い）というプラスチックの歌を歌って踊り、有機的に分解する袋を歓迎しました。



最後に私たちは学校にゴミ箱を寄付しました。



當田アストリット